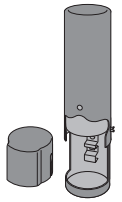
自動印
取扱説明書



この度は、「自動印」をご購入頂きまことにありがとうございます。自動印は、差替式ゴム印（リブタイプ）と併せて使用することで、容易に印字内容が変更できます。また、インクパッドが本体内に設置されているため、連続印字が可能です。

安全にご使用頂くために、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

markingman
スタンプマーキングの総合ブランド マーキングマン

http://www.markingman.com

関連製品のご案内

産業用スタンプインク　エコビュートインク

エコビュートインクは産業用に開発されたスタンプインクです。非浸透面（金属・樹脂等）にはエコビュートインク「#200」を、浸透面（紙・ダンボール等）にはエコビュートインク「#202」をご使用ください。

差替式ゴム印　リブタイプ

セット内容や文字サイズ・フォントなどにより全32種類のセットをラインナップ。特注ゴム印の製作も賜っております。

産業用マーキングのエキスパート

株式会社 ユニオン コーポレーション

http://www.unioncorp.co.jp

本　　社	大阪府吹田市南金田2-26-17	TEL.06-6369-2711	FAX.06-6369-1298
東京支店	東京都大田区東糀谷3-13-11	TEL.03-5735-1300	FAX.03-5735-1231
北関東支店	埼玉県川越市山田1888-1	TEL.049-226-7871	FAX.049-226-7874
静岡支店	静岡県静岡市駿河区津島町5-11	TEL.054-286-8111	FAX.054-286-2533
名古屋支店	愛知県名古屋市天白区井口1-1907	TEL.052-804-6191	FAX.052-804-6213
北陸支店	富山県富山市布瀬町南2-5-1	TEL.076-492-7825	FAX.076-492-7826
大阪支店	大阪府吹田市南金田2-26-17	TEL.06-6369-2504	FAX.06-6369-2508
広島支店	広島県広島市安佐南区川内6-1-26	TEL.082-870-3377	FAX.082-870-3301
九州支店	佐賀県鳥栖市田代大官町下天802-13	TEL.0942-84-3041	FAX.0942-84-2150

使用上のご注意

⚠注意　ゴム印を差し込む際やインクを補充する際は、手の保護のため手袋等を着用ください

手や衣類にインクが付かないように気を付けてください。

⚠注意　インクを取り扱う際は、こぼさないように正しく扱ってください

インクをご使用頂く際は、SDS（安全データシート）をご確認の上、正しくご使用ください。
SDSはホームページよりダウンロード頂けます。
http://www.unioncorp.co.jp/msds/stamp.html

⚠注意　金属製のため、印字対象物に傷が付く恐れがあります

本体全体が金属製のため、本製品を強く押し当てすぎると、印字対象物表面に傷が付く恐れがあります。

消耗品のご案内

クッションシート

種類	商品コード	備考
自動印4号丸印	JID-04G-C	1ヶ入
自動印5号丸印	JID-05G-C	1ヶ入
自動印6号丸印	JID-06G-C	1ヶ入
自動印8号丸印	JID-08G-C	1ヶ入
自動印10号丸印	JID-10G-C	1ヶ入

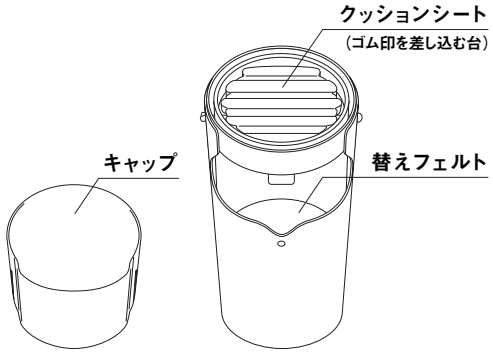
交換時期
ゴムが劣化して、差替式ゴム印が外れやすくなってきた時。

替えフェルト

種類	商品コード	備考
自動印3号丸印	JID-03G-F	20ヶ入
自動印4号丸印	JID-04G-F	20ヶ入
自動印5号丸印	JID-05G-F	20ヶ入
自動印6号丸印	JID-06G-F	20ヶ入
自動印8号丸印	JID-08G-F	10ヶ入
自動印10号丸印	JID-10G-F	10ヶ入

交換時期
ソルベントで再活性化を行っても改善がみられなくなってきた時。

各部名称



※自動印8号丸・10号丸はキャップがありません。

ゴム印のセット方法

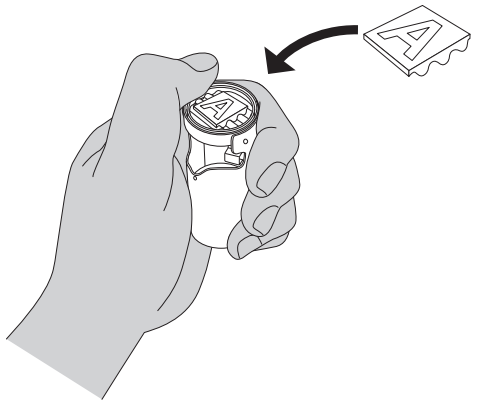
クッションシートの凹部に対し、差替式ゴム印裏面の凸部を合わせて差し込むことで、ゴム印を固定することが出来ます。

ゴム印交換等の際は、必ずフレーム部分に手を添えた状態で行ってください。

ゴム印のずれや外れを防ぐため、しっかりと奥まで差し込んでください。

ゴム印を交換する際は、手袋等の保護具を使用し手や衣類にインクが付かないように注意してください。

印字面の端はインクムラが発生しやすいため、ゴム印は出来るだけクッションシート中央部にセットしてください。

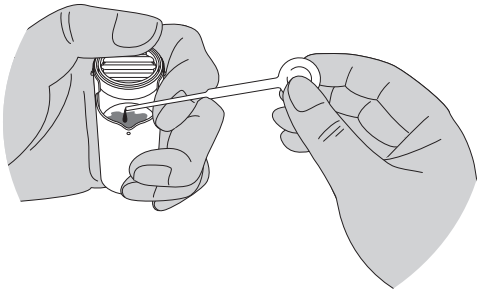


インク補充方法

自動印本体にインクは含浸されていません。付属のスポイトを使い、自動印内部のフェルトにインクを含浸させてください。

インク補充の際は、必ずフレーム部分に手を添えた状態で行ってください。

新品のフェルトは、インクを吸収しにくい場合があります。
インクの入れすぎに注意して、少しずつ含浸させてください。



より長くお使い頂くために

ご使用後の保管方法

ご使用後は、スタンパー可動部分や、ゴム印部分に付着したインクを、専用のソルベント（溶剤）で洗い落としてください。

フェルトのお手入れ

自動印内部にあるフェルトがインクを吸収しにくくなったり、湿潤時間が短くなってきた時、専用のソルベント（溶剤）をフェルトに含ませることで、再活性化させることが可能です。

※フェルトはクッションシートゴムが劣化して、差替式ゴム印が外れ易くなったら交換時期です。交換手順は裏面を参照ください。

自動印取扱説明書

発行：2014年8月25日

仕様・性能は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

株式会社 ユニオン コーポレーション

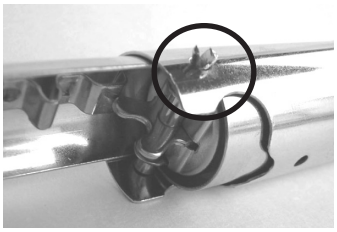
自動印のフェルト交換手順書

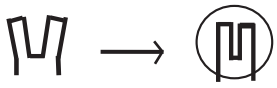
使用工具:
プライヤー(ペンチでも可)
マイナスドラバー
ピンセット

作業を行なう際は、手の保護のため薄手の手袋を着用下さい。

Ⅰ. 本体の分解

ピンを抜くと本体を分解出来ますが、ピンの端が開いているため、プライヤー等で狭めて下さい。
又、本体にはバネが内装されています。自動印本体を手で押さえながら、ピンを抜いて下さい。





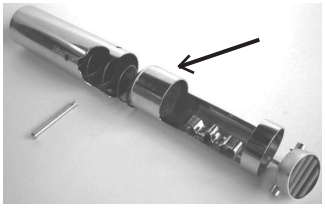
①ピンの端をプライヤー等で狭めて下さい。
組み立て時に再度広げるため、ドライバーが差し込める空間を残して下さい。

②手で本体を押さえながらピンを抜いて下さい。

③分解終了。フェルトの交換へ。

Ⅱ. フェルトの交換

矢印部分にフェルトがあります。

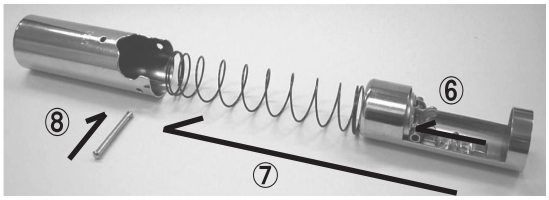


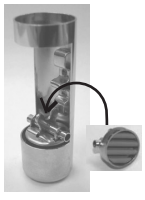
④古いフェルトをピンセットで取り外します。

⑤新しいフェルトをセットします。

Ⅲ. 本体の組み立て

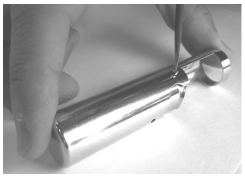
フェルト交換後、各部品を下図の順番で組み立てます。





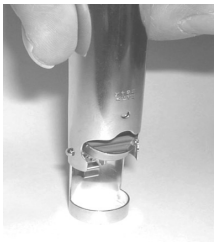
⑥
クッションシート部分をフェルトの上に置きます。

⑦
本体をピン孔が合う迄縮め、ピンを入れます。



⑧
ピンの端を元のように広げ、抜けないようにします。

自動印8号・10号の場合は本体を少し縮め、隙間からフェルトを交換する事も可能です。



フェルト交換後は動作確認を行い、ご使用下さい。

発行:2009年2月

株式会社 ユニオン コーポレーション